

姫路獨協大学講演会のお知らせ

De l'Amour



演題：「恋愛論——哲学的考察と実体験に基づく恋愛のすべて」

日時：平成 27 年 5 月 30 日（土）14：30～16：30

場所：創立 20 周年記念ホール

講師：池下幹彦（姫路獨協大学名誉教授）

受講料：無料

募集人数：100 名

申込期間：4 月 1 日（水）～5 月 27 日（水）

申込先：姫路獨協大学総務部地域連携課

〒670-8524 姫路市上大野 7-2-1

電話 (079)-223-6593

ファックス (079)-285-0352

内容：橋本治の「恋愛は一般論では語れない」という認識に基づき、一般論から各論へと進みます。まず、心理学者の
エーリッヒ・フロムの『愛すること』を出発点とし、スタンダールの『恋愛論』から橋本治や竹田青嗣の『恋愛論』まで
を引用したいと思っています。また、百人一首から俵万智の『サラダ記念日』までの短詩形文学に見られるキラめく愛の
言葉を鑑賞する一方で、講演者自らが 30 歳までに体験した稀有の恋愛体験を語ります。正直なところ、自分の恋愛体
験を聴いていただきたいがために、シェイクスピアのソネットから今日の詩までを「つまみぐい」しつつ、一貫性のない
「恋愛論」（というようなもの）を開陳しようと思ったのです。ここでは最後に、坂口安吾の言葉を引用しておきます——
「恋愛というものは常に一時の幻影で、必ず亡び、さめるものだ、ということを知っている大人の心は不幸なものだ」。
でも、恋愛って絶対さめますよね。しかも、みんなが忙しく動き回っているこの 21 世紀の日本社会では、対人関係を面倒くさがっている人も多く、恋愛そのもの
が過去の遺物のように感じている気がします(笑)。